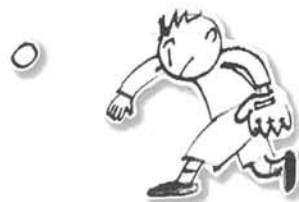




# 両手を協調して 使うおもちゃ

伊藤祐子 ◆ 首都大学東京



今回は、左右の両手を協調的に使うおもちゃをいくつか紹介したいと思います。協調するということは、右手と左手をできるだけうまく使うことともいえます。子どもは発達していく段階で、利き手と非利き手が決まり、日常生活の中で扱う対象を固定したり調整したりする非利き手と、対象を直接操作したり道具を扱ったりする利き手の役割分担が行えるようになり、効率的な作業が行えるようになっていくのですが、そこにたどり着くまでの段階には、両手をさまざまな形で協調させて使う経験が大切です。また、左右の役割分担が獲得された後でも、必要に応じて、左右の手を同時に使用したり、交互に使用したり、複雑なリズムに合わせて使用したりと、手の使い方のバ

リエーションはとても変化に富んでいて、必要なときに必要な動作を行えるということが、到達点ではないでしょうか。

## ●紙相撲

はじめに紹介するのは、紙相撲です。紙相撲は、「とんとん相撲」とも呼ばれることがあります。紙でできた人形（力士）を台の上に載せ、台の端をとんとんたたいて振動させることで台の上の人形を動かす、相撲の取組のようにして勝敗を競うあそびです。左右の協調性の発達の順番でいえば、とんとんたたく動作は、はじめは両手一緒にたたくとそこから始まり、上手になつてくると左右交互にたたけるようになります。その後は臨機応変に両

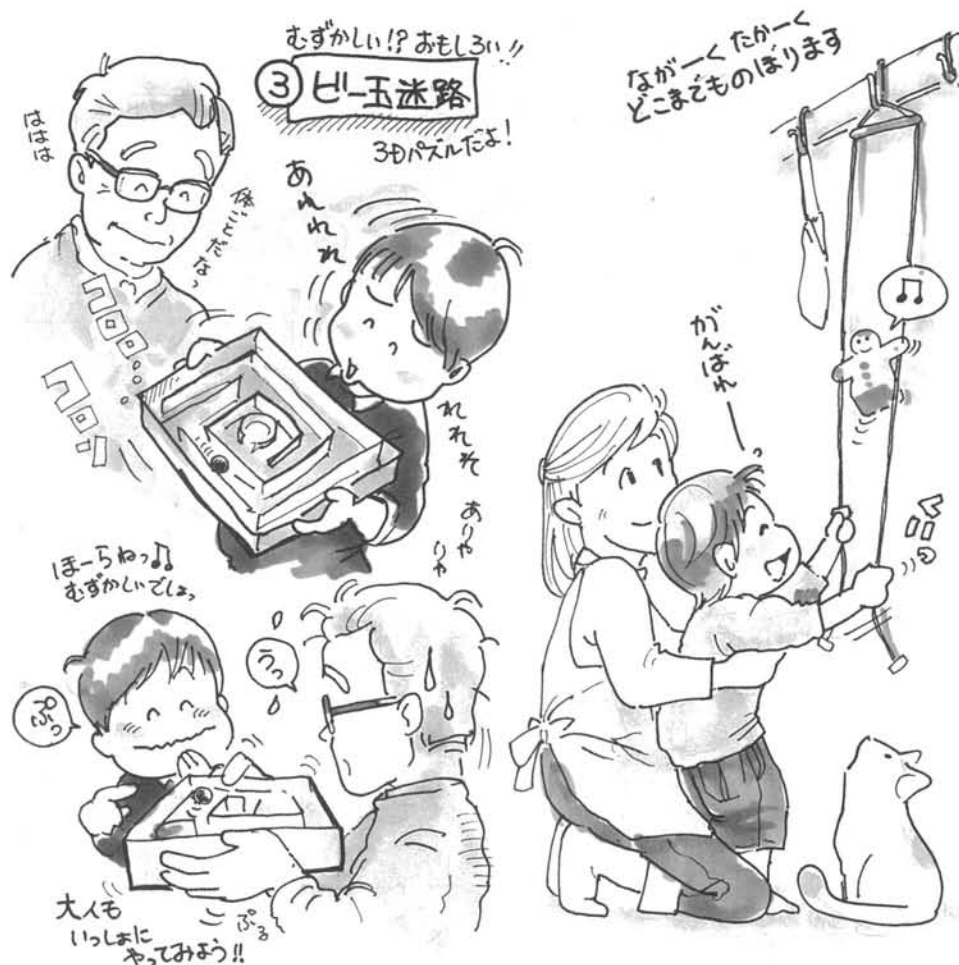
## ●のぼり人形

次に紹介するのは、のぼり人形です。これは、人形がぶら下がっている二本のひもを、左右の手で一本ずつ持ち、交互に引っぱると、人形がするすると登っていく、ひもを離すと下りてくるおもちゃです。このおもちゃの特徴は、両手で同時にひもを引っぱっても登っていかないことです。ですので、子どもは試行錯誤しながら、左右交互に引っぱると登っていくことに気づき、はじめはぎこちない動きから、慣れてくるとなめらかな交互の動きに変化していきます。このおもち

手同時、交互、片手などを組み合わせたたけるようになります。また、たたくときの力加減によって、人形の動き方が変わりますので、目では人形の動きを見つつ、筋肉や関節の動きを感じる固有受容感覚の情報を使って力加減のコントロールをする経験も促されます。紙相撲は、市販のものもありますが、身近なお菓子の箱や牛乳パックなどを使って、製作するところから子どもと一緒に楽しむのも良いと思います。そして、勝ち負けや引き分けなど結果がわかりやすく、勝ったときの喜び、負けたときの悔しさ、引き分けたときの複雑な感情など、さまざまな感情を共有し育てる機会にもなります。



やは、手の力加減と、登っていく人形の動きが連動しますので、このくらいの力を入れると、このくらい動くんだな。というように人形の動きに働きかける手の運動の度合いを、あそびながら経験することが出来ます。また、さらに楽しいポイントは、下りてくるときです。人形を下ろすには、ひもを引っぱる手の力を緩める必要があります。まったく離してしまうと、そのまま人形はするする（コトコト）下りてきますが、直ぐにひもを離さず、ちよつとずつひもを引く力を緩めると、人形が緩めた分だけ下り、またそこで力を入れると、ひもの途中で人形が止まります。このようにして、ちよつとずつ下りに下ろしてくるのも、ちよつとしたスリルを感じワクワク楽しいものです。また、自分の意志で、適度に力を抜くということも、自分自身の身体を思い通りにコントロールする練習になります。あわせて、このおもちゃは、人形が上方に登って行くので、おのずと顔は上を見上げ、脊柱の伸展も促され、手も空間で保持するために肩甲骨の周囲の肩を固定する筋群（中核部の筋群）の活動も促される経験となりますので、背中が丸まりやすい、姿勢が悪いなど、重力に抗した姿勢の保持が気になるお子さんや、手先の細かい作業が気になるお子さんなどにもお勧めのあそびです。立位の姿勢が不



●ビー玉迷路

最後に、ビー玉迷路を紹介したいと思っています。市販のものもありますが、手作り工作などで作られる場合も多いかもしれません。箱の中に迷路のコースがあり、箱を手を持ち傾けることでビー玉がころころと移動し、目的のゴールまで転がしていくおもちゃです。左右の肩、肘、手首を、上げたり下げたり、曲げたり伸ばしたり、回転させたり三次元の複雑な動きが、ビー玉を思い通りの場所に動かすために必要です。すこし難しい協調運動ではありますが、迷路の箱の大きさをちょうど子ども身体の幅程度で、コースの難易度を易しいところからだんだんと段階付けすると、成功しやすく達成感も味わえる楽しいあそびになると思います。ぜひ、大人も一緒に楽しんでください。大人があそんでいる姿は、子どもにとつては見本にもなり、次に子どもがチャレンジするときのヒントにもなるものです。

登り人形参考のサイト...

<http://www.kikorikoubou.com/index.html>

↓イベントシリーズ↓のほり人形

ビー玉迷路参考サイト: <https://ienojp/67912>